

今日のトピック

ギリシャ総選挙で反財政緊縮派が勝利確実

ギリシャ総選挙途中経過

ポイント1 急進左派連合が第一党確実 過半数獲得は微妙

- 25日に投票が行われたギリシャ総選挙は、報道などによると、現野党である急進左派連合(SYRIZA)が第一党となり、過半数を制する勢いと伝えられています。サマラス首相が率いる新民主主義党は第二党に後退する見込みで、政権交代が確実な情勢です。
- ただし、ギリシャの政治制度では、議席が過半数に達しない場合などで組閣出来なければ、再選挙が実施されます。

政党名	得票率	予想議席数
急進左派連合(SYRIZA)	36.2%	149
新民主主義党(ND)	28.0%	77
黄金の夜明け	6.3%	17
ポタミ	6.0%	16
共産党	5.5%	15
全ギリシャ社会主義運動(PASOK)	4.7%	13
独立ギリシャ人	4.7%	13
定数	-	300

(注1) 開票率80%の途中経過。
 (注2) 定数は300議席であり、過半数は151議席。
 第一党に上乗せされる50議席加算後の数値。
 (出所) 現地報道を基に三井住友アセットマネジメント作成

ポイント2 緊縮財政に反対 国民は緊縮疲れか

- 今回の選挙の争点は、欧州連合(EU)などの金融支援の条件となっている緊縮財政の是非でした。SYRIZAは、現在の緊縮財政を見直し、債務軽減を支援側に要求することを公約としています。その他、最低賃金の引き上げ、低所得者層への優遇措置、解雇された公務員の一部復職など、財政の負担が増える政策を多く掲げています。
- これまでサマラス首相はEUなどの支援を得るために、緊縮財政に取り組んできました。しかし、5年にわたる緊縮財政に国民の不満が高まり、SYRIZAへの支持の拡大につながりました。

ギリシャ支援をめぐるEUなどの今後の政治日程

2015年1月 25日	ギリシャ議会選挙
26日	ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)
27日	EU財務相理事会(ブリュッセル)
2015年2月 9~10日	G20財務相・中央銀行総裁会議(イスタンブール)
12日	EU首脳会合(ブリュッセル)
16日	ユーロ圏財務相会合(ブリュッセル)
17日	EU財務相理事会(ブリュッセル)
28日	EUのギリシャ支援終了予定

(出所) 各種報道を基に三井住友アセットマネジメント作成
 ※上記は作成基準日時点の情報に基づき作成しており、今後変更される可能性があります。

今後の展開 EUなどとの債務交渉を巡り、不透明感が残る

- SYRIZAが単独で過半数を獲得出来なかった場合には、他の政党との連立を模索することとなります。仮に、緊縮財政に反対する連立政権が発足することとなれば、これまでギリシャを支援してきたEUなどの支援側との対立が深まり、金融市場が不安定化する可能性もあります。
- EUなどはこれまで総額約2,000億ユーロ超の支援を約束し、順次支援を実行してきました。この2月末を期限にEUは18億ユーロの最後の金融支

- 援を実施する予定となっており、その条件として、追加赤字削減を求めています。
- 反緊縮派が政権を獲得した場合、EUとの交渉の難航が予想されます。仮に今回の18億ユーロの金融支援を受けられなかった場合、3月中旬以降の債務返済に支障をきたす可能性があるとの見方があります。いずれにしろ、次期政権がどのように信頼を回復していくか注目されます。

ここも チェック!

2015年01月23日 ユーロ圏の金融政策(2015年1月)
 2015年01月08日 総選挙で「ギリシャ危機」回避なるか(欧州)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。